

備前市 事務事業 評価表

(平成17年度事業)

事業名	老人保健制度維持事業		コード	担当課	保健課 保険医療係
事業実施期間	平成17年度～		02-01-08-01	担当者	則枝勇人
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれる まちづくり	電話	64-1819 (内123)	
	中項目	やさしさあふれる まちづくり			
	小項目	老人保健(医療費給付)			
	施策	健康や医療の意識啓発			

事業について	
目的	老人保健制度を維持し、給付事業等の実施に資する
対象 (誰のために)	老人医療対象者
内容	老人保健受給者の管理及び制度維持のため必要な会計処理をする

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
老人保健該当者数(年度末)	6,389 人		
医療費通知発行	19,319 通		
第三者納付金	8,332,624 円		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	15,305	国県補助金	386	直接事業費		国県補助金				
	人件費	2,790	受益者負担	0	人件費		受益者負担				
		市債				市債					
合計	18,095	一般財源等	17,709	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.35 人	
結果指標名	老人保健該当者数(年度末)	
結果指標量	6,389	
単位	人	
対前年比	—	
事業費	18,095,000 円	0.00%
単位当たりコスト①	2,832 円	#DIV/0!
結果指標名	第三者納付金の収入に占める割合	
結果指標量	8,332,624	
単位	円	
対前年比	—	
事業費	18,095,000 円	0.00%
単位当たりコスト②	46.05 %	#DIV/0!

事業の成果			
成果指標名	第三者行為求償率	式又は説明	第三者納付金/0.9/医療費×100
	17年度		
成果指標量	0.17%		
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
到達目標値	0.2%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	老人保健制度について、引続き広報等で周知していくことが必要。また、第三者行為求償の早期発見により医療費の抑制につなげる。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	6,000人	結果指標量②	10,000,000円
目標値	結果指標量	0.2%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	広報やパンフ等により法改正の周知徹底をし、資格管理を正確にする。	毎年	該当者が制度内容を理解することで該当者漏れのない適切で質の高い医療を受けることができる。
有効性	新聞記事等の確認やレセプト点検を強化し第三者行為の発見に努める。	毎年	医療費の適正化に繋がる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。